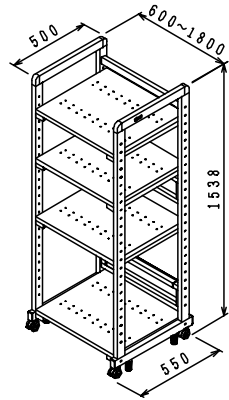


お買い上げありがとうございます。
高耐荷重ラックを正しく組み立てていただくため、この組立説明書をよくお読みください。

組立説明書

HLR-60~180 高耐荷重ラック

完成品



ご注意とお願い

- 1 お一人での組み立ては行わないで下さい。
- 2 天板の上に乗らないでください。
- 3 お手入れの際は、シンナー・ベンジン・みがき粉などは使わないでください。
- 4 耐荷重内での使用にとどめてください。総耐荷重は500kgです。(キャスター、アジャスター併用時)
- 5 重量物を載せた状態でラックの移動を行わないで下さい
- 6

仕様

品名	高耐荷重ラック
品番	HLR-60、HLR-80、HLR-120、HLR-160、HLR-180
外形寸法	幅600、800、1200、1600、1800×奥行550×高さ1538

製品に関するお問い合わせは

製品の品質管理には、細心の注意を払っていますが、万一不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店又は下記までお気軽にご相談ください。

東京サブライセンター 岡山サブライセンター
〒140-1565 東京都品川区南大井6-5-8 〒711-1125 岡山市北区田町1-10-1
TEL 03-5763-0011 FAX 03-5763-0033 TEL 086-223-3311 FAX 086-223-5123

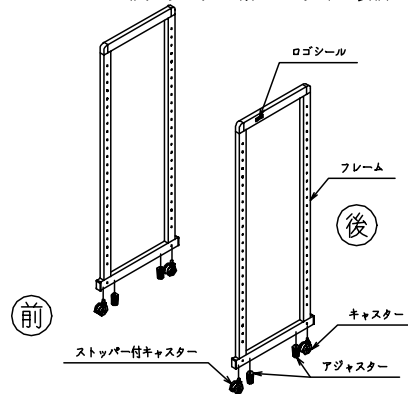
組み立てる前に

重量のある部品が多い為、組み立て作業は大人2~3人以上で行なって下さい。
□用意していただくもの・・・手袋(鋼製品ですので組み立ての際は必ず着用してください。)
□部品を確認してください。(この商品は棚板梱包×2、コード受け梱包、フレーム梱包の4梱包になっています。)

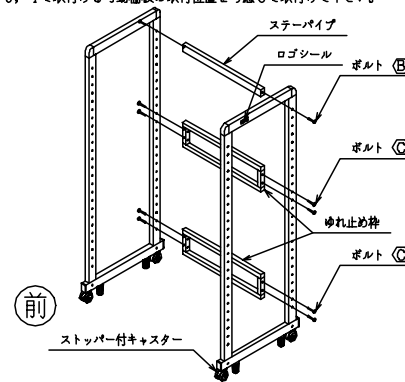
棚板	コード受け	ユレ止め棒	ステーパイプ	フレーム	可動棚板取付パイプ	ボルト(A)	ボルト(D)	ストッパー付キャスター
可動棚板×4 	コード受け×1 	ユレ止め棒×2 	ステーパイプ×1 	サイドフレーム×2 	可動棚板取付パイプ×8 	ボルト(A) (M6×35) ×16 	ボルト(D) (M6×77) ×16 	ストッパー付キャスター×2 キャスター×2 17Mスパナ×1
						ボルト(B) (M6×40) ×2 	アジャスター×4 	
						ボルト(C) (M6×50) ×8 	六角レンチ×1 	

組み立て方 (ボルトはゆるめに締めておいて、完成後もう一度締め直してください。)

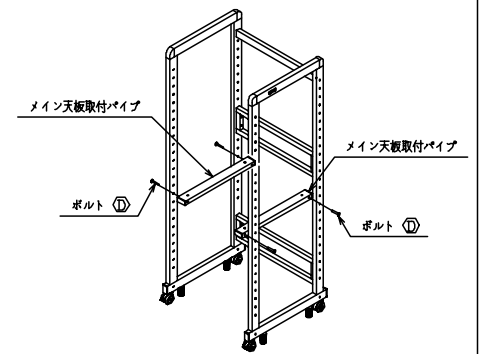
1 サイドフレームにキャスター、アジャスターを取付けます。(ストッパー付キャスターが前側になります。)
ソファのロゴシールが貼ってあるほうが右側になるように下図を参照ください。



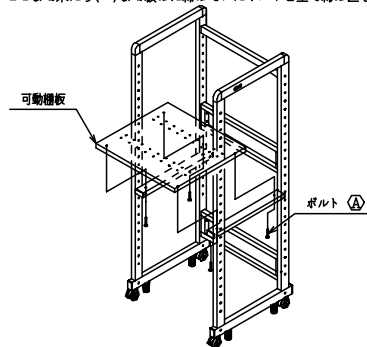
2 サイドフレームの奥側にステーパイプをボルト(B)で、ユレ止め棒をボルト(C)で取付けます。
この時はボルトを緩めに締めておき、後でもう一度締め直します。
3, 4で取付ける可動棚板の取付位置を考慮して取付けて下さい。



3 サイドフレーム内側に可動棚板取付パイプをボルト(D)で取付けます。(パイプのポップナット側が内側になるように取付けて下さい。)
メイン天板の高さを床から700mmにする時は、サイドフレームの下から10番目の丸穴に取付けて下さい。



4 可動棚板を可動棚板取付パイプの上に乗せ、ボルト(A)で取付けます。
可動棚板に前後はありません。
他の3枚の可動棚板も同様の方法でお好みの位置に取付けてください。
ここまで来たら、今まで緩めに締めていたボルトを全て締め直します。



5 コード受けをステーパイプ、又はユレ止め棒へから差し込みます。
これで完成です。

